

ぽれぽれ
(Pole pole)
スワヒリ語で
「ゆっくり…」
という意味です

ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第63号
2025.05.01

理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

- ・安心・安全な医療を提供します
- ・医療連携を進め、地域医療に貢献します
- ・豊かな人間性を持った医療人を育成します

診療案内

内科 外科 消化器内科 消化器外科
脳神経外科 整形外科 耳鼻咽喉科
泌尿器科 放射線科 婦人科
歯科口腔外科

【診療受付時間】

平日 8:30～16:00

土曜 8:30～11:30

【診療時間】

平日 9:00～16:00

土曜 9:00～12:00

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始



マイナンバーカードに書き込まれた 電子証明書の有効期限は大丈夫ですか？



2024年12月2日をもって健康保険証の発行は終了となり、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行されました。ただし、マイナンバーカードに書き込まれた電子証明書には5年の有効期限があります。有効期限が過ぎた場合には健康保険証として使えなくなりますので、市区町村から更新手続きの通知が届きましたら更新手続きを行ってください。

マイナンバーカードでの保険証利用により、データ提供に同意すると過去に処方された薬や診療および健診情報を医師や薬剤師が把握できたり、手続きをしなくても高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されるなどメリットがあります。ぜひ活用してください。



彩都緩和ケア研修会が開催されました

厚生労働省は、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域における医療介護関係機関が連携して、包括的かつ継続的な医療・ケアのための体制整備を推進しています。そのために多種多様なスタッフが各々の高い専門性を前提に、情報を共有し、互いに連携し、患者中心の医療・ケアを提供する「チーム医療」、すなわち「多職種連携」が必要となっています。また近年注目されているのがACPです。ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みのことです。2018年には、厚生労働省において“人生会議”という愛称が付けられています。

その取り組みの一環として、2025年3月8日(土)に、当院で彩都緩和ケア研修会が開催されました。「ACP、家族ケアについて多職種で考える」をテーマに茨木、箕面、高槻、豊中、池田などの北摂地域、遠くは大阪西区、淀川区の訪問看護ステーションの看護師や介護支援専門員（ケアマネジャー）、社会福祉士、介護福祉士、また、民間救急・搬送専門看護師や在宅医と幅広い職種の方々と当院スタッフを含め総勢24名による研修会でした。

当院緩和ケア科医師の森山先生の開会の挨拶の後、4グループに分かれグループワークを行いました。持ち時間が足りないほど白熱したディスカッションとなりました。

意見交換会ではそれぞれの立場、職種ならではの悩みなど話合いやアドバイスをいただくなど大変有意義な時間になりました。

最後は当院緩和ケア科医師の大竹先生の閉会挨拶で今年度の研修会を終了しました。



院内での市民公開講座が開催決定しました！！

地域の皆様への医療支援の一環として、市民公開講座を院内で開催することを決定しました。今回は、当院の谷村健診センター長と薬剤部の後藤主任にお話していただきます。どんな健診を受けることが自分にあっているんだろう？ お薬を服用するときの注意やポイントは？ などが今回のテーマです。

どなたでもお聴きいただくことができますので、皆さまの健康管理のミニ情報としてお役立て下さい。



開催日時・・・2025年7月25日（金）午後2時～2時30分

開催場所・・・1階の総合受付前でピアノ横のモニターを使って行います

講演内容

①薬について・・・後藤一馬主任（薬剤部）

②人間ドックについて・・・谷村光啓センター長（健診センター）



新入職員紹介



2025年の新入職員は

看護師 7名 看護補助者 3名
薬剤師 1名 診療放射線技師 1名
公認心理師 1名 医事課 1名
地域医療連携室 1名 の15名です。



新メンバーを加えると、医師17名、歯科医師1名、看護師118名、薬剤師8名、調剤補助3名、歯科衛生士1名、診療放射線技師11名、臨床検査技師4名、理学療法士4名、言語聴覚士1名、作業療法士1名、臨床工学士1名、公認心理師1名、管理栄養士2名、看護補助者20名、クラーク13名、診療情報管理士2名、医事課9名、総務部5名、地域医療連携室5名、秘書1名、医師事務補助1名、総勢229名となります。

その他、外来診療については約30名の非常勤の先生方にご協力を頂いています。

新入職オリエンテーションの合間にちょっとブレイクタイム！
当院カリンバ部（？）による演奏のプレゼントがありました。
前日から机に向かい研修を受け疲労感いっぱいの中、カリンバの優しい音色に癒やされたひとときでした。



編集後記：インターネットを通じて情報が瞬時に飛び交い、つい振り回されがちなこの時代だからこそ大切にしたいのは自分自身の考えと、揺るがない道徳心だと思います。この春、新たに仲間に加わった皆さんのフレッシュなエネルギーも力に変えて、私たちも新年度をしっかりと歩んでいきたいと思っています。（福西）

発行者：中村仁信（病院長）

編集長：福西康修（放射）

編集委員：村井祐子（医師）高橋美幸（看護）大橋香音（地域連携）

藤尾美優（医事課）東阪真希（放射）林志保（看護）日吉華代（看護）

〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号

Tel 072 (641) 6898 Fax 072 (641) 6097

<https://www.saito-yukoukai-hp.jp/news/pole/>
「ぼれぼれ」はホームページからダウンロードできます！